**４月22日　（株）ケアプロ　代表取締役社長　川添　高志　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージなど**

お金の話をしっかりとしてくれたのがとても好印象だった。その他にも東急の件など上手くいってない現状の話やパチンコ店、利害関係などの話がリアルで面白かった。うまくいっていたり、順調な話ばかりだと、胡散臭く感じてしまう。パワーポイントもわかりやすく、話も聞きやすくて、全体的にとても勉強になった。（教育人間・人文・3年）

ワンコイン健診は時間的にも金銭的にもお手頃でとても魅力的です。しかし、そんなに安くてきちんとした健診ができるのか、短い時間で信用できるデータになるのか、衛生的に大丈夫なのか、と思いました。（経営・経営システム・１年）

将来10年後にはワンコイン健診ができなくなるというお言葉に驚きました。でも会社の代表として今後のニーズを読み取ることは大事ですし、1つの形態にとらわれず新しいビジネスを人々のニーズに合わせて、本当に社会に必要か？を考えてビジネス展開を計ることが大切なんだと切実に思いました。(経営学部　会計情報　１年)

　「できるかできないかじゃなくてニーズに対して何ができるか」という川添さんの言葉がとても印象に残りました。やはり、ニーズがなくては経営もできないし、一番大切にしなくてはならないと改めて感じました。また、普段とは違う看護師とのコミュニケーションがとれることなど、医療以外のニーズもあってプラスアルファの重要性も学びました。そして、インターンを行うことで働くことの意味を知ることの大切さを考えることができました。私は、インターンしたいとただ漠然と考えていたんだなぁと思い、少し恥ずかしかったです。ニーズのあるところにニーズのための経営を行うことができるように勉強していきたいです。（経営学部会計・情報学科　１年）

企業運営していくにあたって、利害関係を考えることが重要であるということがよく分かった。マスコミが取り上げることによって知名度が上がる。そのことによって保健所からしい指摘されることになる。この流れがあることは理解できるが、国民の利益という社会一般の正義の観念から見れば、ワンコイン検診は公益保険を一切使わない。国家予算の負担を削減しているし、正義であると思う。正当であるゆえにそれを抑える力が発生してしまうことに疑問を覚えた。このようなベンチャー企業を運営する上で、志というのは非常に大切だと思う。（教育人間科学　人間文化　１年）

　若い頃に糖尿病の患者さんに出会うという体験をし、医療を変えたい、と思った、その純粋な気持ちのまま、起業をしワンコイン健診を考え出し、少しでも多くの人に健診を受けてもらおうと突っ走っていらっしゃって、とても熱くて素敵な方だと思いました。厳しい状況に陥った時も何度もその壁を越えて事業を続けているのは、ケアプロに従事している方々の熱意と努力の賜物なのだと思います。私は大学で建築を学んでいるのですが、将来はアフリカなどの貧しく教育が受けられない国々に行き、現地の子供たちのために小学校を建てたいと高校の頃から思っていました。しかし大学に入り色々なことを学び、たとえ小学校を建てても、その国のシステムが変わらなければ現地の子供たちは兵士にならなければならず、何の解決にもならないのではと思うようになりました。しかし、今回の川添さんのお話を聞き、ここで諦めるのではなく、どうにかしてアフリカの現状を変えられる方法を見つけたいと思いました。ありがとうございました。（理工学部　建築都市・環境系学科　２年）

小さい頃の自分の経験から、将来やりたいことが早くから決まっていたからこそ、その夢を叶えるために小学生から健康についてまとめたノートだったり、大学１年からインターンに行ったり、バイトやサークルも医療関係のことに取り組まれていて、自分の夢を追いかけ続けて積極的にチャレンジしてこられたのが本当にすごいなと思いました。

今自分は大学生なのに、自分が明確に何がやりたいとかは決まっていないけれど“社会的使命を持つこと”を忘れずにやりたいことを見つけて、そのために積極的にチャレンジしていきたいと思いました。

また医療系のビジネスでは保健所とかすごく利害関係の調整が大変であるということを知りました。

しかし、それにも拘わらず失敗を恐れず諦めないで、社会のために奮闘していらっしゃる姿を見て、失敗をおそれないで挑戦することが大切なのだということはどんな仕事に就いても自分が社会に貢献できる人間になる上では必要な力だと思いました。

今の成功に甘んじずに、どんどん社会をよりよくするために新しいことに挑戦されているのを見て、今まで文系の私には医療に関することで自分にできることはないと思っていたのですが、医療＝病院＝理系のイメージは薄くなってきて、自分にできることがあるかもしれないと、医療に興味を持つきっかけにもなりました。（経済学部　国際経済学科１年）

私は宮城県出身で東日本大震災で被災しました。ケアプロの被災地でのボランティア検診はラジオで耳にしたことはあります。この場を借りて感謝申し上げます。その際は本当にありがとうございました。移動検診は素敵な考えだなと思いました。そこから地域貢献や集客にもつながるし、何よりパチンコ屋などでやるという考えはいいと思いました。私の地元では高齢者が多く、私自身も一人暮らしを始めて健康に対して興味を持ち始めたのでぜひ私の地元でもお願いしたいです。

「限られた人生を大切に使う」という言葉には心が打たれました。私たち経営学部は様々な分野のビジネスに関わる機会がたくさんあって、特に文系の私にとっては医療分野はあまり目にしなかったことなのでもっと視野を広げて、私も新しいビジネスや考えを創造できる人になりたいです。（経営学部、経営システム学科１年）

最初のVTRでケアプロさんの活動をみて感動してしまった。はじめはワンコイン健診に対して懐疑的であったから、川添さんが打算的ではなく本当に人の役に立ちたいという熱意が伝わったからだ。正規の医療機関ではないことから困難が多くあったんだなと本当に思った。川添さんのこれからの活躍を心から願っています。また、自分にも何かに対する強い意志がないことに焦りを感じている。

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

日本が抱える社会問題を別の視点から見ることで、何か変えられることがないかなということを考えてみたいです。前回の講義でもありましたが、中小企業でインターンをすると、大事なプロジェクトをまかせてもらえたり、普通では考えられない経験が出来て楽しそうだし機会をみてやってみようと思いました。（経営学部　国際経営学科　１年）

普段何気なく過ごしている時間も、目標を持って過ごせば、将来につながるのだから、私も目標を持ち、それに向けて授業やアルバイトをより積極的に行いたいと思います。

　インターンを必死で行った女性のタフさを受け、何かを必死に泥臭く行えるような精神を身に着けたいと考えるようになりました。また悔しさをばねに次の行動へと反映させられるようになりたいです。そして、私はこれから経営学を学んでいくのだから、ぜひ企業との契約交渉をすることを念頭に学んでいきたいと思った（経営学部　国際経営学科１年）

正直、今まで、自分は健康で、健康診断なんてする意味はないと思っていた。しかし、今回の講義を聴いて、健康診断の重要性を学んだ。糖尿病など、恐ろしい病気は、誰もがなってしまう可能性は持っているので、健診を受けるようにしたい。そして、安く、早く、健診を可能にした川添さんのビジネスを利用したい。また、インターンは、社会の雰囲気を味わえる良い機会であると感じたので、是非、インターンを利用したいと感じた。僕も、人を助けられるようなビジネスをしたいと心から思った。　(経済学部・国際経済学科1年)

　社会がまだ目をつけていない分野に気付けることは、起業においてすごく大切だと思う。更に、今日の講義で最も大事だと感じたのは、「利害調整」ということ。相手の立場をよく調べて、かかわる法律についてよく勉強することで自分の立場を守ることができると思う。自分の立場と相対する立場がいないかよく考え、いかに戦っていくかということを常日頃から意識していきたい。（経済・国際経済　1年）

授業スタッフの感想１

前回は秋元さんの行動や経営の仕方、話術に魅力を感じた人が多かったですが、今回は川添さんの言葉に印象を受けた人が多かったです。全体的に、既存のルールにとらわれずそれを変えていこうという意識を持つ、自分が作った商品でもさらなる工夫や新しいニーズに合わせていく大切さ、の２点が共通してみんなが感じたことでした。

前回もそうでしたが講義を聞いてインターンシップをしようと考える人が多く出てきています。講義を聞いてインターンシップに行きたい！だけでなくあの業界に行きたいと思えるといいと思いました。

授業スタッフの感想２

前回とは異なり、専門分野に特化した経営をしている川添さんのお話を聞いて、自分も人と異なる個性を生かした経営を考えていきたいと思いました。スタッフになり、インターンシップのことも深くお話を伺えて嬉しかったです。

授業スタッフの感３

　今回は、人間誰しも身近でありながらなかなか真剣に考える機会が少ないと考えられる“健康”についてのご講演だったことも影響したのか、「大変よかった」や「よかった」という評価が占めていた。　文系理系問わず医療に取り組むことができるということを伝える、という意味で、医学部のない国大でお話しがうかがえたことは素晴らしいことだったように思う。

授業スタッフの感想４

今回は“本当に社会に必要なもの”や“協力してくれる人との出会い”というキーワードが多い印象を受けました。それと川添さんの経験談を聞いたことでインターンシップにさらに興味を持った人が増えたと思いました。